



Asflora 便り - エコ・クリスマス 2018 年 12 月

Asflora (アマゾン森林友の協会) は、恒例の Natal Ecológico 「エコ・クリスマス」 行事を 12 月 7 日 (2 度)、8 日、15 日にベレン市の隣町アナニンデウア市で、12 月 21 日はベレン市から 120 km 離れたアバエテツバ市で行いました。

この行事は、子供たちと共にクリスマスを祝い、身の回りの環境を良くしていくことを願って続けています。

では、2018 年 12 月に行った、5 回のエコ・クリスマス行事を、以下写真で紹介します。

12 月 7 日 (金) 午前中



この日は、アナニンデウア市アントニオ・ダヌービオ環境公園で行いました。地元の Moldura Norte 社 (月敦社長)、日本学生海外移住連盟(学移連)OB 会、の寄付を得て、アナニンデウア市環境局、同市環境公園部、同市環境警備隊、同市少年警備団、地元学校が協力で開催できました。参加者は約 140 人でした。スポンサーになってくれた月さんご夫

妻も二人のお孫さんと一緒に参加してくれています。アマゾン農大からは代表者としてレジナルド教授（国際交流部長）が来てくれました。日本から来ていた木田さんという横浜国大出身の青年は、Asflora ボランティア活動に11月から続けて参加していました。



植樹した所は、塀際の開けていた一画でした。53 樹種千本の苗木を植えました。植え付け後、葉切り蟻（サウーバ）に丸坊主にされる苗が多く、蟻退治が欠かせません。



12月7日（金）午後

アナニンデウア市には、ロナルド・マクドナルド財団による Casa Ronald McDonald という小児癌の患者を支援している施設があります。同市環境部と共に、同日午前中のイベント後、Asflora の森の劇団員たちは同施設を訪問し、クリスマスを楽しみました。



12月8日(土)

アナニンデウア市は、住民が居る島がいくつもあります。ボートで2時間の距離にある Ilha do Igarapé Grande (イガラッペ・グランデ島) という住民千人の島を、同市環境警備隊に案内されて訪ねました。



12月15日(土)

Casa da Boa Esperança (ボア・エスペランサの家) という団体には、Asflora の会員が居て、毎年クリスマス行事への招待を受けています。いつも近所の貧しい家庭の子たちを大勢招いて、クリスマスを祝いプレゼントを渡しています。新装された集会場で、Asflora のボランティアグループは森の劇を披露し、子供たちを楽しませました。



12月21日(金)

佐藤は、ベレン市を早朝5時半の一番バスに乗り2時間20分、アバエテツバ市に到着。Asfloraの仲間7人と合流し、船着き場からいつもの船(ディーゼル50馬力)にて30分、サンジョアン・デ・バッチスタ学校に隣接した市民会館?に朝9時になって到着。すでに210人を超える生徒たちが、先生たちに率いれて歌と踊りで大賑わいをしていました。ここは、Asfloraがもう6年に亘って湿地帯アグロフォレストリー普及活動をしているコミュニティなので、馴染みの子どもたちが多くなっています。学芸会では、その審査員を引き受けました。ここの子たち、親類が殆どなので、和気藹々、元気過ぎて先生と保護者は大変だったことでしょう。午後1時過ぎまで、エコ・クリスマスを堪能させて貰いました。



Feliz Natal !

2018年12月24日

ASFLORA 代表 佐藤卓司(文)